

令和4年8月12日

報道機関 各位

**地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」における  
3大学合同インターンシップ(ENGINE インターンシップの試行)のお知らせ**

2020年度から始まった信州大学・富山大学・金沢大学が連携して取り組むENGINEプログラム (<https://enpg.u-toyama.ac.jp/>) では、ENGINEプログラムに参加する学生が就職活動を始める来年に備えて、地域課題解決型プログラム—ENGINEインターンシップ(通称 ENGINE インターンシップ)のプロトタイプ・プログラムの開発を始めました。ENGINEプログラムにおけるインターンシップは、3大学が連携することによりインターンシップ先の企業が広域になるばかりでなく、企業の特長や課題をも知ることによって、就職して企業人となったときに取り組むべき課題解決や新しい価値創造への参画意欲を促す好機となります。

ENGINEインターンシップの開発にあたっては、ENGINEプログラムに参加する3大学の2、3年次生が、ENGINEインターンシップの試行として、長野、富山、金沢の企業やフィールドで3か月間活動をし、来年度のインターンシップ受講生のモデルとなるプログラムづくりに参加します。

7月には金沢大学(石川県金沢市)において、3大学の学生と3地域の企業が交流する中で、課題について議論する場を設けています。8月22日の本学で実施するインターンシップに際しましては、是非、報道の皆さまにご取材いただきたく、ご案内申し上げます。

取材にお越しいただける場合は、下記の問い合わせ先へ、当日(8/22)10時までにご連絡ください。

(なお、8月15日(月)～19日(金)の間、富山大学は「時季指定年次有給休暇」の取得による一斉休業を実施いたします。)

## 記

**【ENGINEインターンシップ(試行)の内容】**

2023年度の実践力強化フェーズでの本格実施に向けたプレ・インターンシップとして実施!

3地域共通のクリティカル問題は何か? どうすれば3地域が発展するのか?そこに誠実に、徹底的に向き合う!インターンシップ。

- ◆ 地域課題解決型プログラム—ENGINE インターンシッププログラムの4つのポイント
- ◆ 地域課題解決型プログラム—ENGINE インターンシッププログラムで捉える求める人材像とは?

※詳細は別紙をご参照ください。

**【本件に関する問い合わせ先】**

富山大学 ENGINE プログラム  
担当;岸本 壽生(経済学部)  
嘉瀬井 恵子(地域連携戦略室)

Email;[kasei@ctg.u-toyama.ac.jp](mailto:kasei@ctg.u-toyama.ac.jp) (嘉瀬井)

電話;076-445-6955(取材申込)  
076-445-6517(当日連絡先)

【別紙】

## 地域課題解決型プログラム—ENGINE インターンシップについて

## ◆概要

- 対 象 : 2、3年生（全学部）
- 内 容 : 「ENGINE プログラム」がテーマとする「食」「観光」「交通」「インフラ・ものづくり」の地域課題の解決を捉えるインターンシップ
- 協 力 企 業 : 富山地域：三協立山、立山科学グループ、  
日本海ガス絆ホールディングス、  
（チューリップテレビはアドバイザーとして参画）  
信州地域：東洋観光事業、長野銀行、松本山雅、信越放送  
金沢地域：山岸製作所、こみんぐる、北陸放送
- 実 施 日 : 3大学の学生と3地域の企業が一堂に会して課題の解決を議論  
【日時】令和4年8月22日（月）13:00～18:00  
【会場】 富山大学経済学部棟1階（101教室 他）
- 参加費・単位 : 無料・2単位
- 課 題 : ENGINE のフォーカス領域である「食」「観光」「交通」「インフラ・ものづくり」の4つのテーマを「再定義」し、課題を設定した上で、実行可能性のある、解決のためのサービス・アイデアと提案せよ。  
上記課題に対し、自身が実践することも可能とさせていく。

## ◆ 産学連携 課題解決型インターンシッププログラムの4つのポイント

- 信州大学・富山大学・金沢大学の3大学連携のプログラムで他大学の学生と切磋琢磨→富大生14名、信大生7名、金大生7名の合計28名が参加。混成チームで地域を広域に捉え、課題に取り組む中で、相互に刺激し合い、学び合います。
- 社会で真に求められる「力」や「スキル」を磨くことができる→3地域の企業に「これから求められること」を調査・分析しました。その知見をもとに、「創新」「連携」「突破」のENGINEのキー概念を捉えた上で、プログラムを構成。
- 「長期」、「学生主体」、「実践」を重視し、プログラムを構築。だからこそ圧倒的に成長できる。伸びる。
- 「成長」を促す、手厚い支援体制を構築。さまざまな社会人から多くのフィードバックがもらえる→大学教員のみならず、各地域の基幹産業の企業や、テレビ局、東京に本社を構えるコンサルティング会社から各段階で多様なフィードバックをもらい、3地域の学生・企業が連携できる機会を創出。特に、各地域の企業からは、若手メンターと管理職の2つの層からの伴走を実現。

◆ **産学連携 課題解決型インターンシッププログラムで捉える求める人材像とは？**

インターンシップでは、企業が求める人物像を元に作成したルーブリック（人材能力評価指標）を軸に進めています。ルーブリックでは、大きく分けて、**創新**（現状を把握する力、目的を設定する力、変わり続ける力）、**連携**（繋ぎ合わせる力、巻き込む力、役割を果たす力）、**突破**（粘り強くやり抜く力、失敗を恐れず挑み続ける力）の能力があります。こうした力は、世の中や企業を変革するのに必要な力であり、企業で求められる人材であることがアンケートを通して分かりました。このインターンシップでは、そうした能力を持つ企業の方々にインタビュー取材を行うことで、能力の身に付け方を学生自身が考えます。

◆ **富山大学生 14 名の内訳**

- 所属学部：経済学部 11 名、理学部 2 名、工学部 1 名（男子 7 名、女子 7 名）
- 学 年：3 年生 8 名、2 年生 6 名

# Press Release

## ◆プログラムの大きな流れ

	テーマ	日程	形式	協力企業担当
Day1	チームビルディング	7/6 (水) 18:10~21:00	オンライン	
Day2	ループリック (連繋・創新・突破) の基本スキルインプット/企業メンターとの相互理解と目標設定	7/16 (土) 13:00~18:00	金沢大学で合同開催	若手メンター
Day3	地域でのフィールドワーク	7月3週~4週	富山大学生は富山地域を担当	
Day4	教員によるフィードバックとアドバイス	8/12 (金) 10:00~17:00	オンライン	
Day5	課題設定および解決の方向性提示→中間報告	8/22 (月) 13:00~18:00	富山大学で合同開催	若手メンター/管理職
Day6	企業からの情報提供/企業訪問	8月5週~9月1週	富山大学生は富山地域を担当	若手メンター
Day7	企業メンターによるサポート	9/9 (金) 13:00~17:00	富山大学生は富山大学	若手メンター
Day8	教員によるフィールドワークとブラッシュアップ	9/16 (金) 10:00~17:00	オンライン	
Day9	解決策における最終報告と相互アドバイス	9/22 (木) 13:00~18:00	信州大学で合同開催	若手メンター/管理職
Day10	ふり返りと目標設定	9/23 (金・祝) 9:00~15:00		(若手メンター/管理職)